

あかね



令和7年3月7日(金)発行
薩摩川内市立川内北中学校

自主 友愛 奉仕 鍛錬

文責：校長 感王寺 等

巣立ちの季節

今週の5日(水)、6日(木)の公立入試を終え、来週の12日(水)に卒業式を迎え、3年生も巣立ちの時となります。公立入試日には、居残り組が3年部の先生方とともに教室や校舎をきれいに掃除していました。明日のクラスマッチも十分楽しみ、沢山の思い出とともに卒業式を迎えることでしょう。本日は全校生徒が集う最後の全校朝会でしたが、会場の都合で卒業式に在校生は参加できないので、1、2年生の拍手で卒業を祝う場としました。また、3学期の0運動を達成した3年3組の表彰も生徒会が行いました。全校で唯一の達成であり、3年の他の学級も1、2名の違反があっただけでしたので、3年生の頑張りを示してくれたように感じます。卒業式後の3年生の声がしない校舎に、1、2年生も進級への自覚を高め、締めくくりに相応しい生活を送ってくれるものと期待しています。



【3月の一事徹底】

正しい服装 身なりの徹底
～ 感謝の心で有終の美 ～

今月の一事徹底は、服装と身なりです。3年生の卒業式を始め、儀式に相応しい姿があります。今週時点の0運動の身なり違反は、1年が12名、2年が5名です。ネームや組章を確認し、有終の美を飾る毎日を送りましょう。

鹿児島学力・学習状況調査の結果

今年度からCBT方式(タブレットを使った調査)で実施された鹿児島学力・学習状況調査の結果が分かりましたので報告します。

○ 1年の結果

	国語	社会	数学	理科	英語
本校	61.2	54.2	46.4	55.8	60.6
県比	-1.7	+1.8	-2.4	-2.1	+1.8

1年は社会と英語で県平均を上回ったものの、他の3教科は県平均を下回りました。領域別で見ると次の通りです。

国語	言語事項	話す・聞く	書く	読む
本校	61.3	65.3	58.9	59.3
県比	-2.7	-1.2	-2.2	-2.1

全ての領域で県平均を下回っており、問題別の通過率(正答率)を見ると、「敬語の使い方」が23.6%(県27.9%)、「根拠を明確にして考える」が29.1%(県37.0%)「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す」が

3.9%(県10.7%)、と通過率が30%を下回り課題となります。歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す問題は、高校入試にもよく出題され、一度理解して覚れば正解できる問題です。しっかり復習し、身に付けてほしいと思います。

社会	世界の地域	日本の地域	世界の生活	世界の地域
本校	59.1	69.8	45.7	43.0
県比	+8.1	+3.9	+1.7	-1.7
	原始～古墳	飛鳥～平安	歴史の捉え方	
本校	47.4	50.7	70.3	
県比	-3.1	-1.1	+7.6	

県平均を上回っている領域が4つありますが、原始時代から平安時代までの歴史の領域を復習することが必要です。問題別に見ると「EU間での人々の移動について、複数の資料から考察する問題」が21.8%(県27.7)、「世界の古代文明の場所と特徴」が27.4%(県29.4)と30%を下回っています。

数学	数と式	図形	関数	データ活用
本校	59.8	61.2	35.1	29.3
県比	-2.8	+0.8	-3.6	-2.1

図形は県平均並の通過率ですが、他の領域は全て下回っています。問題別では、「数値やグラフから速さを求める」が17.3%(県21.3)、「複数のグラフから割合を求める」が15.3%(県17.2)と、30%を下回っています。数学は積み上げの教科ですから、1年段階で分からないところを少しでもなくしておくことは、次学年以降の学習にも必要なことです。

理科	エネルギー	粒子	生命	地球
本校	56.8	44.8	57.7	64.0
県比	-2.4	-2.3	-1.3	-2.2

全ての領域で下回っており、問題別では「音の波形」が23.4%(県32.4)、「密度の求め方」が20.3%(県21.2)、「質量パーセント濃度の求め方」が16.0%(県20.8)と、30%を下回っており、課題となります。

英語	聞くこと	読むこと	書くこと
本校	68.8	49.5	62.2
県比	+1.1	-3.5	+6.1

聞くことは県平均並みで、読むことは県平均を下回り、書くことは県平均を上回りましたが、タブレット入力では単語を予想変換しているため、普通のペーパーテストでも書くことの正答率が上がるかどうかは少し心配な面もあります。問題別では、「対話の流れに沿った応答(Do you ~?)」が25.2%(県比-2.2)、「対話の流れや文法事項を理解して適切な語を補う」が17.9%(-3.7)であり、課題となります。

締めくくりの3月、毎日を大切に!

○ 2年の結果

	国語	社会	数学	理科	英語
本校	61.3	48.4	39.2	48.8	49.4
県比	-5.0	+1.4	-1.7	-3.6	-3.4
1年次の県比	-8.2	-3.4	+2.3	+3.3	-5.2

社会以外県平均を下回る結果でした。昨年までの鹿児島定着度調査と形式が異なるので比較は難しいのかもしれませんが、国語と英語は県平均との差が狭まりました。しかし、数学と理科で大きく開いてしまいました。

国語	言語事項	話す・聞く	書く	読む
本校	66.8	51.5	51.8	60.3
県比	-4.1	-6.1	-2.2	-5.0

全ての領域で県平均を下回り、問題別では「登場人物の言動の意味について考え、内容を解釈する」が21.5% (県比-5.5) と30%を下回っています。

社会	地域調査	日本の地域的特色	日本の諸地域
本校	59.4	43.7	40.6
県比	-3.1	-1.2	+0.8
	安土桃山時代	江戸時代前期	江戸時代後期
本校	34.5	50.2	69.1
県比	+8.4	-2.3	+6.6

地理分野が県平均を下回り、歴史分野が県平均並みか県を上回った結果でした。問題別では「日本の資源・エネルギーに関する資料の読み取り」が25.1% (県比-1.3)、「中国・四国地方の農業の特色を複数の資料を関連付けて考察し、表現する」が16.7% (県比-1.2)、「桃山時代の日本の対外関係について資料を基に考察し表現する」が21.2% (県比-3.1)、「16世紀の出来事理解」24.1% (県比+7.6) と30%を下回り、複数の資料を活用して考え、表現することに課題があります。

数学	数と式	図形	関数	データ活用
本校	41.5	27.6	34.7	53.1
県比	-0.4	-4.0	-4.4	+2.1

数と式は県平均並で、データ活用は県平均以上ですが、図形と関数が県平均を下回り課題となります。また、問題別では「空間における辺の関係」が14.6% (県比-6.4)、「三角形の合同の証明」が22.6% (県比-8.5)「反比例」が24.1% (-6.6)、「グラフ」が23.6% (県比-2.4)、「ヒストグラムを使った説明」が21.6% (県比+2.5) と30%を下回っています。

理科	エネルギー	粒子	生命	地球
本校	44.4	39.8	61.6	49.3
県比	-5.3	-3.2	-3.7	-1.8

全ての領域で県平均を下回っており、問題別では、「反応する物質の質量の比から未反応の物質の質量を求める」が24.0% (県比-5.9)、「反射する光の道筋」が23.5% (県比-10.3)、「分解の理解」が27.5% (県比-7.7)、「分子について」24.5% (県比+3.8)、「高気圧の中心付近の気流」が24.5% (県比-10.7)、「吸盤に働く大気圧の大きさ」が6.5% (県比-1.5) と30%を下回り

課題となっています。特に県比で-10の問題は、学び直しておく必要があります。

英語	聞く	話す	書く
本校	53.6	51.7	40.3
県比	-4.8	-0.2	-5.7

話すは県平均並みですが、聞くと書くが課題となります。問題別では、「対話文と記事からの読み取り」が21.7% (県比-2.8)、「対話の流れや文法事項を理解して適切な語を補う」が18.2% (県比-3.9)、「テーマに沿って英文を書く」が28.6% (県比-0.8) と30%を下回ります。「対話の流れや文法事項を理解して適切な語を補う」は1,2年ともに課題となっています。今後は教科部会で、これらの結果をもとに成果や課題を明確にし、補充学習や次年度の指導に役立てていきます。



○ 学習状況 ◎: はい ○どちらかと言えば 数値は%

質問内容	1年		2年	
	◎	○	◎	○
①自分で計画を立てて勉強しているか	17.4	45.7	8.9	37.8
②分からないことは自分で工夫しているか	25.0	41.3	17.9	41.8
③授業に自分から取り組んだか	18.5	53.3	18.9	48.3
④話し合い活動で考えを深めたか	48.9	40.2	45.8	43.8
⑤学んだことを次の学習に生かしているか	26.1	51.4	26.4	42.3
⑥自分に良いところがあると思うか	25.4	44.9	37.8	35.3
⑦先生は良いところを認めてくれるか	31.5	50.4	27.4	52.2
⑧幸せな気持ちになることがあるか	44.8	44.2	52.7	37.3
⑨決めたことはやり遂げるか	44.9	46.4	48.3	38.8
⑩難しいことにも挑戦するか	24.3	45.7	30.8	42.8

①は、◎◎の合計で1年生は6割弱、2年生は5割強となりますが、計画的に学習することに課題があります。フォーサイトを有効活用しましょう。

②は1,2年ともに6割前後、③と⑤は7割前後ですが、◎と○の数値が入れ替わるとより授業は活発になると思われます。

④は1,2年ともに話し合い活動が活発にできたようです。友達との学び合いを通し、思考が深まることを期待します。

⑥は、1,2年ともに7割前後で、⑦は8割前後ですが、今後も生徒の良い点を認め、伸ばし、自己肯定感が高まるよう支援していきます。

⑧は1,2年ともに9割前後で、◎が少し多い結果でした。⑨、⑩も○より◎が増えるように、生徒のやる気を引き出し、励ましていきたいと思います。

健康管理をしっかりし、寒さに負けず自力で登校を